

月刊 おかじょうき

おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

D511
No. 511

誌上句会「0番線」

佐渡真紀子・むさし 選

2025

4



| | | |
|-------------|----------|-----|
| 題「貸」 | 佐渡 真紀子 選 | 4 |
| | むさし 選 | 6 |
| 無人駅鑑賞「カンテラ」 | むさし | 4 |
| 会員雑詠集「無人駅」 | | 7 |
| ■例月句会結果■ | | |
| おかじょうき川柳社 | 3月例句会 | 19 |
| 十和田たてがみ川柳会 | 2月句会報 | 25 |
| Infomation | | 28～ |

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PCとプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すればOKです。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3モノクロ1ページ：約20円 / A3カラー1ページ：約100円
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

0番線

選 佐渡 真紀子 「貸」 題

【佳作】

- この先はたぶん心を借りたまま
足元を貸そう暗がり持つ君に
えんぴつを貸して以来のくされ縁
空き部屋はガラクタさんに貸している
“FOR RENT” エデン2丁目果実付
神様が貸してくれてた子どもたち
見なかったことにしておく、貸しておく
貸してくれ昭和の匂いしてる本
冥途まで貸し切りバスで行くつもり
借金を返せと言わぬ母でした
領きを貸したお礼の青信号
貸したまま指切りの指暮れてゆく
お隣りにベイダー卿が越して来た
貸し借りの支点にトランプが座る
お貸した「ゆ」は雪を降らせましたか
来し方の貸借対照表が赤
- 青森県 吉田州花
福井県 みつ木もも花
大阪府 宮井いずみ
愛知県 安藤なみ
福岡県 もりともみち
秋田県 わしやみつこ
秋田県 斎藤泰子
滋賀県 中島順子
青森県 村上あつこ
福岡県 城後朱美
福井県 みつ木もも花
静岡県 米山明日歌
青森県 小野五郎
青森県 滋野さち
徳島県 徳長 怜
佐賀県 嵯峨山登

- 耳を貸す前に見ておく舌の色
心臓を預けています貸金庫
夕焼けを貸したら海を返された
ビックリ箱はビックリを貸す係です
- 愛知県 安藤なみ
東京都 上原 稔
千葉県 尾崎良仁
青森県 笹田かなえ

【秀逸】

- 羽化はじまる春の野山を貸し切つて
終点は花野だと言う朽ちた貨車
降りそうな空だったのよそれだけよ
- 大阪府 笠嶋恵美子
秋田県 佐藤春子
青森県 熊谷冬鼓

【特選】

- 貸し借りのゆあーんゆよんのあいだから
- 青森県 吉田州花

【特選】ともすれば人間関係に亀裂を
入れかねない貸し借り。その緊張感を
吹き飛ばす、のんきなゆあーんゆよん
が最高でした。

【秀1】いやいや、それだけではない

選 評

でしょう！甘い気持ちがあったはず、
忘れられないエピソードがあったはず、
ず！と妄想しました。

【秀2】ぼうぼうの草の中の貨車を見
かけます。そこは確かに終点で、錆び

佐渡 真紀子

た車体は怪しいけれど、花に囲まれて
朽ちていくなら悪くないと思うので
す。【秀3】野山を貸し切る贅沢、だ
からこそあの圧倒的な生命の爆發、春
です。

0番線

選 題 「貸」 むさし

【佳作】

- 奥さんを貸して下さい夜明けまで
 左手なら貸してあげてもいいですよ
 恋だもの元本割れは想定内
 貸したつきり返って来ない孫二人
 デキャンタ貸すわそつと注いであなたの心
 神様に千円程の貸しがある
 カボチャの馬車とガラスの靴貸し
 倍返し位じゃ足りぬから貸さぬ
 この命だけならお貸しできますよ
 『FOR RENT』エデン2丁目果実付
 冥途まで貸し切りバスで行くつもり
 オーロラへ貸してたはずの赤の音
 神様が貸してくれてた子どもたち
 耳を貸す前に見ておく舌の色
 早咲きの水仙に貸しだした春
 わたくしの二月を貸したままの人
- 東京都 上原 稔
 福岡県 城後朱美
 秋田県 わしやみつこ
 青森県 葉 閑女
 青森県 高木まあこ
 大阪府 岸井ふさゑ
 青森県 須藤しんのすけ
 青森県 まみどり
 青森県 まきこ
 福岡県 もりともみち
 青森県 村上あつこ
 青森県 戎 踊兵
 秋田県 わしやみつこ
 愛知県 安藤なみ
 奈良県 柳本恵子
 静岡県 米山明日歌

【秀逸】

- 大統領タバコの火貸してくれないか
 夕焼けを貸したら海を返された
 貸したのはきらめく海とさんばしとお貸しした「ゆ」は雪を降らせましたか
 とりあえず泣いてみなよと貸す夕陽
 羽化はじまる春の野山を貸し切つて
 貸し間有り☑影売りが通ります
- 青森県 小野五郎
 千葉県 尾崎良仁
 秋田県 佐藤春子
 徳島県 徳長 怜
 青森県 守田啓子
 大阪府 笠嶋恵美子
 徳島県 徳長 怜

【特選】

- 終点は花野だと言う朽ちた貨車
 秋田県 佐藤春子

特選

終点は花野だと言う朽ちた貨車

これまでいろいろな句を読んできた。中に、その句に基づいた物語を私なりに

選 評

に自然に創造してしまう、そんな句がいくつあった。
 この句の作者は、貨車と対面している。その「貨車」が「終点は花野だよ」と作者に言ったというのだが、私は、

むさし

貨車が作者を誘っているのだと思う。もう走れない「朽ちた貨車」が「終点は花野だよ」「一緒に行きませんか」だなんて幻を見ているようだ。物語はここから始まる。

【0番線「貸」：投句者44名】吉田州花・佐藤春子・みつ木もも花・城後朱美・渡邊あき・笠嶋恵美子・田中薫・戎踊兵・芝岡かんえもん・妹尾凜・わしやみつこ・安藤なみ・岩根彰子・斎藤泰子・岸井ふさゑ・村上あつこ・土田雅子・宮井いづみ・坂本清乃・滋野さち・一帆・もりともみち・葉閑女・熊谷冬鼓・笹田かなえ

笹田隆志・小野五郎・まみどり・まきこ・守田啓子・米山明日歌・奥田悦生・嵯峨山登・尾崎良仁・柳本恵子・上原稔・四ツ屋いづみ・鳴海賢治・中島順子・高木まあこ・夏草ふぶき・峯島妙・徳長怜・須藤しんのすけ

カンテラ

おぼろ

当柳社のホームページに「電子書庫」が加わった。中に、かもしか川柳社の柳誌「かもしか」の昭和58年10月1日発行通巻241号及び昭和58年11月1日発行通巻242号がアップされている。

第1回「川柳Z賞」の発表号である。

これは、ホームページだからこそできること。楽しんでいただきたい。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

一晩中おしくらまんじゅうする羊 亥の一
あなたはね青が似合ってはいけない 尾崎良仁
影と踊った一度つきりのジルバ 高木まあこ

本棚の裏に理想の隠し部屋

瀧尻善英

小波さえ返せなかった曲がり角

斎藤泰子

あばかれる事があつたか鮫鱈鍋

坂本清乃

割といいかも並んで見る夕陽

一帆

先ずお湯を沸かしてからの時間割

熊谷冬鼓

菜箸で空白期間かき混ぜる

渡邊こあき

痛む膝に枯葉力サコソからみつく

村上てる

アリバイ煮崩れる二日目のカレー

峯島 妙

なりきつてみせます旨い唐揚げに

まきこ

空白に入る人影二つ三つ

辻井洋子

吹雪からぬつとタオルの頬かむり

戎 踊兵

戎踊兵さん、今冬は吹雪が結構ありましたね。車で走っていてホワイトアウトになるとどうすればいいか

分からなくなってしまいますが、どうしてですか。

そんなとき「ぬつとタオルの頬かむり」が現れたらワオ！です。今はもうほとんどお目にかかれない「タオルの頬かむり」、タオルの下に踊兵さんの顔があったりしてね…(汗)

B群

そんなことより血豆みたいなバーコード 岩根彰子
鼻先が触れてあなたと同化する 須藤しんのすけ
解ろうとするから青い三幕目 吉田州花
空っぽの車内に星のぬいぐるみ 安藤なみ
開いたら水が湧き出るヨハネ伝 金瀬達雄
親指の位置が問題なのだ、きみ 宮井いずみ
あきらめて 空洞一つ生まれたの 吉見恵子
わたくしの二月の地図をもつ男 米山明日歌
煮え切らぬ男 水抜きしちやおうか 葉 閑女

葉閑女さん、「水抜き」って一般には水道の凍結防止のため不凍栓を動かし水道管の中に溜まっている水を地中に排水することですよ。それを、「煮え切ら

ぬ男」にやろうって、その方、暴れたりしないかな…。閑女さん、何度か経験済みなの？(笑)

C群

背泳ぎでやって来たのは春でした 守田啓子
あなたの息を吐く靴下の穴も きさらぎ彼句吾
過去にするには塩分足りません 三浦蒼鬼
引き算をしながら鶴を折っている 芝岡かんえもん
ともだちはいないリングはふたつある 鳴海賢治

守田啓子さん、この光景、どこで見たの？三沢市ではいつもそうなのかな？それにしても、「春」が「背泳ぎ」でやってくるとは驚きました。友達の息子の「春」くんのことでしたってことはないでしょうね。

きさらぎ彼句吾さんは穴があくまで靴下を穿いたことがあるのでしょうか。おそらくないでしょうね。でも、実感句だと思っ読者がいたりしてね(笑)「靴下の穴」が「息を吐く」のか…。

三浦蒼鬼さん、「過去」というものに「塩分」が関係しているって全く知りませんでした。塩蔵の山菜な

なんてあるから「過去」も腐らないように塩漬けすることかな。黒石市二双子大学で研究されてる新学説だったりにね。

芝岡かんえもんさんは、引き算が好きなのか。私はまだ経験していないのですが、後期高齢者の自動車運転免許証の更新には認知症検査が必要で、「100から次々7を引きなさい」なんて問題があると聞きます。かんえもんさんは「鶴」を折りながらその練習をしているのかな？で、どんな「鶴」ができるのでしょうか。「鶴」を英語で言うと「crane」ですが、クレーンって工事現場に立っているあれですよ。

鳴海賢治さん、「リングはふたつある」って、自分が食べる分と、もうひとつはともだちが食べる分ってことですよ。せつかく「ふたつ」用意したのに「ともだち」がいなくてどうしたのかな。病気が何かで亡くなってしまったかな、どこか遠くへ引っ越してしまったかな。淋しそうですね。あれ？これから「リング」を餌に友達をつくらうってことかな？（汗）

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅3月月間賞

次の雷を次の男と待つ

米山明日歌

■おかじょうき川柳社 会員登録しませんか？

おかじょうき川柳社会員登録希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

【会員特典】

- 月例会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社
→会費：4,000円（1年分）

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

信頼を取り戻すため春は舞う
眠れない夜 海を彷徨う羊
背泳ぎでやって来たのは春でした
こんな日の小さな旅のテーマ曲
春が来た上書き保存しちやったよ

先月号のお気に入り
雪はふうわり何もなかったことにして
リセットするために雪は降ってくるのですね
吉田州花

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

まち針を打つさびしい春の空に
大安吉日ブーメランやつと手にもどる
季節風に誘われて今日はズル休み
赤いマネキュア人間不信つづいてる
椿の赤 ポロリと落ちて春一日

先月号のお気に入り
さよならをするためだったミルクティー
甘く切ない感じがいたしました。
葉閑女

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

雪雲は重く窓辺のヒヤシンス
てのひらの秩序をみだす春風
あきらめて 空洞一つ生まれたの
通るたびに「さよなら」という花水木
紋黄蝶ふわりふわりと手帖より

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

右耳を温める ジャーンと始まる
船首像その役だけはごめんです
再就職はシャーマンという選択
言うなれば実写版ピカレスクでしょ
気づけよもう カピバラたちを手繰る手に

先月号のお気に入り
カラマゾフ家族ぞろぞろ冬の街
「ぞ」が続々と雪道を歩く音が聞こえます
金瀬達雄

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

草青むもう命日が来るんだね
戯れごとくも傑作も生むブルーブラック
拳と拳を混同してる遠眼鏡
煮え切らぬ男 水抜きしちやおうか
木々芽吹くガレキになつてゆく砦

先月号のお気に入り
肝臓に棲んでる内部告発者
要するに休肝日を設けなさいってことね。
小野五郎

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

ピアノは反田誰も来ない日のおめかし
のんのんと今日の反田と二人きり
解ろうとするから青い三幕目
妖しを弾き込み野ぶどうの褥
晴れは雪真冬は十度相聞歌

先月号のお気に入り
ほーほたる遊び尽くして逝くつもり
そんなつもりはなかったはずなのに
齋藤泰子

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

わたくしの二月の地図をもつ男
入り口の形のまま待つ踵
手の平をはみだすものが欲しい夜
歯ごたえのあるお返事がいただけぬ
尻尾かします 思い出がつきるまで

先月号のお気に入り
追伸に黒酢を回しかけますね
黒酢の独特な匂いと味。苦手です。それを回しかけるとは・。一度やってみようとおもいます。
岩根彰子

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

家出にはならない誰もいない家
菜箸で空白期間かき混ぜる
かくれんぼ早く見つけてくれないか
星占いいいとこどりをしています
何度もジョーカーがでるトランプ

先月号のお気に入り
煮崩れただけでアンコにされちゃった
美味しく食べてもらえたら、いいことにしましょう。
坂本清乃

安藤なみ

【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

金柑を齧って一日を消去
りんご酔に胡椒をふって初対面
削除したメールが残す抽象画
空っぽの車内に星のぬいぐるみ
突然に消えた無添加の触感

先月号のお気に入り

一帆

【いちほ・秋田県秋田市】

踏ん張っているのか落のとう
話しかけないで小指溶けてゆく
天気くらい味方につける晴れ女
割といいかも並んで見る夕陽
パンの耳まだ迷っている余裕

先月号のお気に入り

くよくよを水三杯でながしこむ
未だ修行中です。
村上てる

亥の一

【いのいち・青森県青森市】

針穴を抜けて手渡すチョコレート
一晚中おしくらまんじゅうする羊
今日を消すペーパーミントの歯磨き粉
吊革の首輪外して海を見に
コチコチの記憶湯煎に掛けてみる

先月号のお気に入り

方舟を待たせてるからじゃあまたね
見事な決め台詞に脱帽です
斎藤泰子

岩根彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

裸木の透き間宛先ずり落ちる
どんつきで税を払って来たミミズ
そんなことより血豆みたいなバーコード
熱もなく持ち帰る割り箸2膳
べんちやらに滅法弱い不整脈

先月号のお気に入り

プーチンが隠し持つてる紙オムツ
さもありません。
むさし

戒踊兵

【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

地吹雪の髭が愉快にやって来る
独りつつ吹雪の闇へ晒される
吹雪からぬつとタオルの頬かむり
地吹雪の上の品良き青い空
地吹雪へ会うたび伸びる眉二本

先月号のお気に入り

誤嚥したままで君へと向かう指
嬉しいけれど、なんか切ない。
米山明日歌

奥田悦生

【おくだえつお・三重県伊勢市】

貸金庫女の性が弄ぶ
ボールのように転がす女高気圧
唇は貸してあげますあなたなら
初夢は眠れる美女に肩を貸す
貸した金編隊飛行と大空へ

先月号のお気に入り

つい過去へ向かってしまっ足袋は脱ぐ
残された未来に向かう足袋を買う
きささき彼句吾

尾崎良仁

【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

さよならも放屁も思い切りするよ
不条理を俺のえくぼが許しちゃう
あなたはね青が似合ってはいけない
土下座しながら夕飯の支度する
胡蝶蘭ほどの性欲あればなあ

先月号のお気に入り

金瀬達雄

【かなせたつお・富山県高岡市】

開いたら水が湧き出るヨハネ伝
裸木を中心に回る島
水神の雫に生まれ渦となる
ヒトよりは温かそうな冬の雨
子の頬を撫でて充電してた日々

先月号のお気に入り

手の甲の皺から父が浮いてくる
三十年逢ってないなあ。
三浦蒼鬼

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

女偏の煮沸消毒だけできぬ
あなたの息を吐く靴下の穴も
エンドロール迄でしゃべる菜箸のくせに
懺悔しきり何を煮てきた鍋なのか
春の持ち合わせなら笑顔より多い

先月号の
お気に入り
腐ったミカンのまだ食べれるとこみたい
S i n
手を出しかねられ、結局巻き添えで棄てられちゃうのよ
ね

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

先ずお湯を沸かしてからの時間割
食パンは8枚切り派カシスジャム
背伸びする取越し苦勞追いやつて
ジャンケンのあいこで笑い合えている
懐メロのサビ繰り返すウォーキング

先月号の
お気に入り
肝臓に棲んでる内部告発者
小野五郎
情報社会の怖さとも自身の不安とも重なり巧み。

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

児も親も大騒ぎする雲来たる
冬將軍降臨大道脈硬化
お迎えが真白く照らすたずねびと
かえりたくないが天には逆らえぬ
雪雲のなおも抗う山の奥

先月号の
お気に入り
古典講読土佐日記から始めよう
葉閑女
いきなり源氏や枕草子から始めると挫折します。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

子規の寢床に水琴窟を隠してる
ひよつとして栞の旅に出たのかしら
燃料棒にしみだしている羞恥心
帽子の鍔二度触ったら結婚だ
お別れに竹内まりあ歌うから

先月号の
お気に入り
方舟を待たせてるからじゃあまたね
斎藤泰子
こんど方舟に乗せてください

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

待つ人がおります雪の常夜灯
見透かしている知らんぷりだと気付く
小波さえ返せなかつた曲がり角
疵ばかり数えて雪が深くなる
忘れられ正直安堵したのです

先月号の
お気に入り
あなたとのすき間に芹を植えておく
守田啓子
私だったら・・・パンジーとでも言えばいいところだが、
茗荷はどうかしら？

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

居眠りで終わつた一日あいうえお
あばかれる事があつたか鮫鱈鍋
里芋のぬめりを笑う納豆汁
絡む糸何処に行くのかも吹雪
かけうどんすすつて応え探してる

先月号の
お気に入り

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

月光ふり注ぐ 匂い立つケモノ
寂しくてラップになつてJAZZを吹く
邪魔だと云われる 内側で殺した
絶滅危惧種は昭和に戻りたい
引き算をしながら鶴を折っている

先月号の
お気に入り
ゆうやけになるうか青空になるうか
守田啓子
それはぜったいゆうやけです。いまさら青空なんて

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

寒波襲来灯油を買つて冬ごもり
寒かろうと車にカバーかけてやる
北国から見ればかすり傷のような雪
九州に住んでることの安堵感
雪下ろしテレビ画面の虚しさよ

先月号の
お気に入り
スーパで孤独をいやす菓子を買う
吉見恵子
同感。菓子袋が溜まります

Sin

高木まあこ

死にならずむ 雪が気になる咳をする
 「羨ましい」ばかりを煮詰めている街で
 つぎはぎの剥がれて 夜がパンドラる
 煩惱の息継ぎし忘れて春
 死にそびれても生きそびれてもいない朝

羽衣にひと筆で書く月と書く
 ポラリスがじつと見るからじつとしてるの
 春を待つ鏡に映ったとんがり棒
 影と踊った一度つきりのジルバ
 再びが無いなんて言わせない

先月号の
お気に入り

おそらく一勝五敗になるキミに 峯島 妙
 次が一勝目なのか五敗目なのかで、世界線が変わりそう。

先月号の
お気に入り

あっちにいつてワタシの涙なんだから 芝岡かんえもん
 私の代わりに言ってくれてありがとう！

須藤しんのすけ

瀧尻善英

泣く前にback number 聴けてよかった
 「一日分の野菜」 本日三本目
 鼻先が触れてあなたと同化する
 ブログって気持ちの悪いフェイクだろ？
 スタンプの無いLINEから消されてく

優しさはキングコングのような人
 援軍がまさか裏目に出た火の粉
 蛇口からたちまち癩に障る音
 本棚の裏に理想の隠し部屋
 躓けば『人間失格』があるさ

先月号の
お気に入り

鉛細工のふくろう渦を連れてくる 宮井いずみ
 厳選された材料と卓越した技術によって作られた縁起物。
 その超ハイパワーに期待MAXです。

先月号の
お気に入り

入会をします「この世を語る会」 三浦蒼鬼
 後世に生きた証を残すことが大切ですね。

田中 薫

夏草ふぶき

降るは降る空崇め春掴めたら
 栄養剤栄養剤整えて次
 二月って筆柿のよう未だ冬
 ワタシってなんぼの顔と声 ムズイ
 小脳から金粉ちよつと遊んでみる

錆びついた脳を取り出し煮沸する
 影が無い 娑婆に生きてるはずなのに
 次々と煮豆転がる死装束
 手の中で温めている天狗の死
 落下した天使の羽根を拾ったの

先月号の
お気に入り

「生きるって何」ゆっくりひらく紙つづて 米山明日歌
 頭の中に居座つてまーす。

先月号の
お気に入り

表札の曲がり具合で老いを知る 坂本清乃
 表札を確認しちゃいました、曲がってたわ。

辻井洋子

鳴海賢治

空白に入る人影二つ三つ
 硬い城レンジでチンと崩します。
 青い鳥探して猫背ときようなら
 吹き出物ひとつ 瞬発力を確かめる
 窓の下咲いたかまだかクロッカス

飲みほうだい食べほうだいにじゅずつなぎ
 なかまわれするたんびにのびる雲
 ふたことめにはあなたがすぎというカラス
 ともだちはいないリングはふたつある
 うまれでたまんまおおきくなりました

先月号の
お気に入り

九十五になったらわかると母が言う 城後朱美
 その身になってみないとねえ。

先月号の
お気に入り

ポケットの奥からつかみ出すゴジラ むさし
 スケールの大きさにひかれました。

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

ハシゴする昔スナックいま医院
心臓も眼も遺伝子が悪さする
友逝きてラジオ体操やる気無し
パン焼ける匂いで妻に惚れ直す
大雪予報「降るな降るな」と念送る

先月号のお気に入り
ドロドロに溶けて流れる前頭葉 村上あつこ
私の前頭葉も溶けていないかMRI検査が必要かもしれ
ません。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

歳の数きつちりもらう薔薇ならば
押し花にしたらトゲだけ生きのびる
花バサミ一言多いのが魅惑
名ばかりの花器と剣山マンネリ化
オアシスの乾き許容範囲の乱れ

先月号のお気に入り
昨日より笑えることを探してる 坂本清乃
そうそう楽しいことをみつけなきゃやっていけない。。。

まきこ【まきこ・青森県青森市】

高い場所登っています雨しとど
なりきつてみせます旨い唐揚げに
納豆汁飲んでこの世を進む朝
こんもりとキャベツを盛って出陣だ
愉しく優しく生きていますと春野菜

先月号のお気に入り
ほーほたる谷を登って星になれ むさし
ほたるにも星にもなりたくない。だつてきれいだもの。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

過去にするには塩分足りません
指鉄砲の先端に嘘発見器
消印は有効ですが不発弾
右手から左手にする現住所
くちびるが雪を溶かしてまだ青い

先月号のお気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

ひとりだしココアぐずぐず溶けないし
別れるのなら22歳の別れ
アリバイ煮崩れる二日目のカレー
バイアスをかけてあなたを待つ小徑
耳たぶがこそばい夜の入り口

先月号のお気に入り
肝臓に棲んでる内部告発者 小野五郎
脂肪肝と言われています。告発を無視してはいけないの
でしょうね、第三者委員会にかけましょう。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

鍋の中プライドが皆バツチバチ
電鉄が無くても句会這つてでも
透明の別名だよね水色は
歩くつて書いて春読む私
諦めの悪さは若さなのかなあ

先月号のお気に入り

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

合格者説明会はヒヤシンス
JPCZ牝ライオンになる
点検につきまじないはまた明日
そそよと歯茎のうすい日であった
親指の位置が問題なのだ、きみ

先月号のお気に入り
白菜のように抱かれてゆく図式 守田啓子
そして、鍋に入れられた白菜はゆらゆらいいお出汁を出
すのですよね。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

聞いてよ聞いて私の呆けつぶり
出世コースから外れてマイペース
一人では生きられないが独りが好き
点線を繋ぐ未来が見えるまで
フラフラと三途の川の畔まで

先月号のお気に入り
くよくよを水三杯でながしこむ 村上てる
それがいいですよ。私もそうします。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

嘘つきにされそうな風はたとやむ
落葉ふむ痛むひざにからみつき
母の忌や福寿草ぼつぼつと咲く
痛む膝に枯葉カサコソからみつく
春ウララ吊られた折りづる動き出す

先月号の
お気に入り
あめの日も風の日もありがとうです星月夜 古川啓子
ありがとう なんと心地よい響きでしょう。言っても言
われても私も毎日この言葉を言う様になっています。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

折れそうで折れない老いた鬼のツノ
スコップの先の悲鳴を聞いたのか
N正広の額に刺さるピンヒール
雪だるまの背骨を登るカメレオン
ジョーカーも後期高齢なんだって

傷のある言葉

おかじょうき川柳社

3月例会

3月1日(土) 午後2時～ アウガ5F 企画ワーク室

▼出席者(13名)

高木まあこ・Sin・守田啓子・熊谷冬鼓・舟木小柳・渡邊こあき・吉田州花・きさらぎ彼句吾・小野五郎・むさし・田中薫・夏草ふぶき・須藤しんのすけ

▼投句者(20名)

安藤なみ・芝岡かんえもん・嵯峨山登・岩根彰子・柳本恵子・戒踊兵・鳴海賢治・村上あつこ・峯島妙・宮井いずみ・葉閑女・一帆・斎藤泰子・坂本清乃・米山明日歌・まきこ・まみどり・笹田隆志・城後朱美・奥田悦生

使ってますか？

登録作品数 9万句を突破！

川柳データベース

<https://okajoki.com/db/>



席題『角』

青森県黒石市 高木まあこ選

【佳作】

迷路から漏れる修司の女性論
 須藤しんのすけ

角のある言い方するよ君だから
 舟木小柳

雪解けの対角線でみのもんた逝く
 守田啓子

角番でサイコロステーキ食べている
 渡邊こあき

何もないパンツもブラもないまんまるで
 田中 薫

この角を曲がったところから家出
 吉田州花

ツノ5本ためるとサバ缶もらえます
 むさし

交番の角から漕ぎだす高瀬舟
 小野五郎

菜の花が菜の花になる曲り角
 守田啓子

角隠し外した妻に添い寝する
 舟木小柳

まなざしふりそそぎ角砂糖ほろろ
 きさらぎ彼句吾

生きながら豆腐の角を探してる
 S i n

こわばった角がほぐされ人になる
 夏草ふぶき

いち日に5度ずつ君に傾むいた
 夏草ふぶき

しゃべり出す三角定規の丸のこ
 熊谷冬鼓

【秀逸】

正解はひとつじゃないと五角形
 熊谷冬鼓

アメ玉が角をまーるくしてくれる
 田中 薫

アメリカのツノをロシアが舐めている
 むさし

【特選】

面取りをしすぎて誰だか分からない
 きさらぎ彼句吾

『角が無くなって良かった！』

席題『角』

青森県外ヶ浜町 Sin選

【佳作】

この角を曲がったところから家出
 吉田州花

正解はひとつじゃないと五角形
 熊谷冬鼓

お人柄だけではパンは売れ残る
 吉田州花

角打ちで岩下志麻と飲むビール
 須藤しんのすけ

まなざしふりそそぎ角砂糖ほろろ
 きさらぎ彼句吾

気を抜いてチーズケーキに角がない
 渡邊こあき

何もないパンツもブラもないまんまるで
 田中 薫

たしなめられてもられてもまだ楔
 きさらぎ彼句吾

いち日に5度ずつ君に傾むいた
 夏草ふぶき

交番の角から漕ぎだす高瀬舟
 小野五郎

雪解けの対角線でみのもんた逝く
 守田啓子

曲がり角すべての地雷踏み抜いて
 須藤しんのすけ

しゃべり出す三角定規の丸のこ
 熊谷冬鼓

ツノ5本ためるとサバ缶もらえます
 むさし

青春を先割れスプーンでつついてる
 守田啓子

【秀逸】

迷路から漏れる修司の女性論
 須藤しんのすけ

面取りをしすぎて誰だか分からない
 きさらぎ彼句吾

菜の花が菜の花になる曲り角
 守田啓子

【特選】

角とれた私は一体誰になる
 高木まあこ

『だから怖くて取らないんですね角(笑)』

宿題『長い』

青森県弘前市 きならぎ彼句吾選

【佳作】

長女だもの小さい方の箱をとる
 小細工なんて長く持たないはずですが
 春うらら延長コードの出番です
 円周率のらりくらりと読経する
 長持になる順番がやってきた
 症状を忘れてしまう待ち時間
 デスマスクの眉の形の長ひじき
 脱皮する終わってからの長きこと
 振り上げた拳は長めに空に置く
 唇を長い話で割ってみる
 五十年吹雪き続けている眉間
 前置きが長くて白状できない
 埋み火に聞かせるアラビアンナイト
 長過ぎた夢から覚めた副作用

守田啓子
 まきこ
 熊谷冬鼓
 笹田隆志
 守田啓子
 まみどり
 夏草ふぶき
 坂本清乃
 まきこ
 戎 踊兵
 むさし
 一 帆
 葉 閑女
 嵯峨山登

野ざらしのあばよに長い夏と冬

待ち合わせ場所は長蛇の列だった

箸を持つ方の右手が長くなる

スリッパはいまだに道を外れる

鳴り方で長い電話になる予感

モジリアニの首から旅がはじまる

【五客】

ぎぎぎギギギと無期懲役の股関節

トークショウ乱切りにして芋煮会

長考に入るオトコが欠けたので

後れ毛にしては言い訳長すぎる

両手で測る嫉妬心の幅

【人位】

脱皮した流星でしたと家族葬

【地位】

遠回りしていいこうあなたの弱さまで

【天位】

しんにようを延ばして春をよびにゆく

♪ 胸を広げて待ってます。

宮井いずみ

安藤なみ

戎 踊兵

笹田隆志

峯島 妙

米山明日歌

むさし

岩根彰子

S i n

米山明日歌

S i n

S i n

夏草ふぶき

S i n

S i n

S i n

守田啓子

宿題『抜』

青森県青森市 渡邊こあき選

【佳作】

カルガモの足抜け助けたことがある
 抜かりなく迷路編んだよ逃げましょう
 ピアノぼろん抜け駆けなんて許さない
 拍子抜けするほどいつも通りの日常
 いかにして選ばれている一等星
 抜擢の人からしだれ梅になる
 骨抜きにしちゃえ甘納豆あげて
 いたわりのメールに抜けてゆく痛み
 流行性感冒抜き足差し足やってくる
 靴下が脱げたし籍を抜きますか
 雪つづくこれが最後の葱を抜く
 安全ピン抜いて土偶土になる
 相談は縦系抜いてきく悩み
 コトコトと常識を煮てアクを抜く

小野五郎
 吉田州花
 守田啓子
 須藤しんのすけ
 田中 薫
 宮井いずみ
 葉 閑女
 葉 閑女
 葉 閑女
 柳本恵子
 夏草ふぶき
 吉田州花
 坂本清乃
 米山明日歌
 柳本恵子

灰汁抜きは済んだここからどう生きる

今日はこれでお開きですと背骨抜く

抜け感がお似合いその気にさせられて

親切は税抜き表示されている

まだ抜けぬまだ抜けぬ正午の時報

家じゅうのプラグを抜いてオリオン座

【五客】

さよならの間合いを詰める居合い抜き

コンセント抜いたら長い旅に出る

さび抜きのお前か食べたもんじやない

抜き打ちで試す言い訳の白さ

息を抜くとこ間違えてばかり寒っ

【人位】

栓を抜く許せるものを選び分けて

【地位】

栓抜きは行方不明で秋のはじまり

【天位】

右足が一輪挿しから抜けません

♪ 右足が一輪挿しになって早く抜いて

斎藤泰子

夏草ふぶき

熊谷冬鼓

S i n

鳴海賢治

S i n

峯島 妙

斎藤泰子

夏草ふぶき

熊谷冬鼓

S i n

S i n

鳴海賢治

S i n

峯島 妙

S i n

斎藤泰子

夏草ふぶき

城後朱美

夏草ふぶき

S i n

守田啓子

戎 踊兵

吉田州花

小野五郎

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

花桃を一枝買つて春を呼ぶ
 決着がつかずに昇る雪の壁
 ゴールテープ持たされずと待っている
 点滴のひとつひとつに君の顔
 冬のセーター編めばわたくしになる
 青春がたたまれてゆく微炭酸
 踵から根が出る音がやかましい
 茹でられて立てなくなったホウレン草
 空腹のカラスと睨み合う夜明け
 雪原に樹氷三体瞽女のように
 かあさんの「ん」でしょ私を揺らすのは
 齢重なる本性色のうろこ
 折り返すゴシック体のままだけど
 帰ったよ髪に風花香らせて

渡邊こあき
 渡邊こあき
 夏草ふぶき
 嵯峨山登
 芝岡かんえもん
 守田啓子
 戎 踊兵
 夏草ふぶき
 S i n
 舟木小柳
 守田啓子
 吉田州花
 熊谷冬鼓
 吉田州花

十和田たてがみ川柳会二月句会

○日時 2月8日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ 佐藤まさあ

き・斉藤蛙井・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・

村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『レトロ』 佐藤まさあき 選

【平抜き】

古いよりレトロなヒトと呼ばれたい
 近頃はブーム到来懐古趣味
 若者のレトロブームに仲間入り
 リフォームの古民家カフェが今話題
 函館のライトに映える赤煉瓦
 旅先のレトロな街で深呼吸
 拘りの昭和が残る黒電話

久保あざみ
 白山 修治
 高田 幸柳
 高田 幸柳
 瀧尻 善英
 瀧尻 善英
 高田 幸柳
 瀧尻 善英
 齊藤 蛙井

【秀逸】

想い出がレトロに染まる老いの日々

齊藤 蛙井

夜が明ける切り取り線の上だった
 月に戻り湿った女として生きる
 唇に雪の秘密が落ちてくる

熊谷冬鼓
 夏草ふぶき
 小野五郎

余命宣告それから白夜まだ白夜

きさらぎ彼句吾

桜で思い出す変ホ長調の約束

S i n

わたくしを許してやろうブラ外す

米山明日歌

【五客】

納得のいかない夜だテーマは黒

高木まあとこ

まだまだ死なぬさ点滴の独りごと

芝岡かんえもん

ふたりでも三角形で暮らしたい

高木まあとこ

辛夷咲くはずだった父さんだった

守田啓子

世界史の所々に焼き芋屋

小野五郎

【人位】

サンタマリアの仮設トイレが濡れている

小野五郎

【地位】

ペツペツペツ 又ヒトに人喰わされた

きさらぎ彼句吾

【天位】

渡された引っかき傷のある言葉

渡邊こあき

↑乾燥肌の言葉だったのかな…。

大正のレトロとロマン夢二の絵

福田 芳記

【特選】

昭和史が徐々にレトロへ染められる

齊藤 蛙井

■席題 『レトロ』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

昭和史が徐々にレトロへ染められる
 近頃はブーム到来懐古趣味
 古いよりレトロなヒトと呼ばれたい
 武家屋敷ロマンにひたる見学者
 旅先のレトロな街で深呼吸
 廃線でレトロな鉄路の枯れすぎ
 あの頃に戻らせた気にするレトロ
 爺ちゃんが昭和の演歌浸つてる
 レトロ調家具を揃えて飲む紅茶

齊藤 蛙井
 白山 修治
 久保あざみ
 福田 芳記
 高田 幸柳
 高田 幸柳
 齊藤 蛙井
 木村奈生美
 白山 修治
 佐藤まさあき
 福田 芳記
 齊藤 蛙井
 高田 幸柳

【特選】

レコードのプチプチ音に出るレトロ

高田 幸柳

■宿題 『連続』

高田 幸柳 選

【平抜き】

感動の連続ドラマ目頭が
道路まで雪掻き続く春遠い
イッチニ・イッチニまだ歩いてる幸せだ
青空に干す連敗のユニホーム
昭和史に連続してる血のにおい
給料前三日連続カップ麺
コロナ禍で中止続いた食事会
万馬券 柳の下を信じてる
子孫ひまごも子孫に生きるDNA
耽々と四季に顔出す雲の帯
雪かきの日々へ居座る大寒波
連凧が空の彼方に吸い込まれ

【秀逸】

マシンガントークで口説かれる疲れ
家系図を見ては自分の位置を知る

【特選】

倉敷の蔵が連なる海鼠壁

白山 修治
久保あざみ

村上 昌子

木村奈生美

斉藤 蛙井

城後 朱美

木村奈生美

佐藤まさあき

福田 芳記

村上 昌子

瀧尻 善英

佐藤まさあき

瀧尻 善英

福田 芳記

瀧尻 善英

■宿題 『レジ』

木村奈生美 選

【平抜き】

留守番の母を待たせるレジの列
一円が足りぬ一品レジに置く
レジ袋チマチマたたむ癖がある
エルメスのバッグから出たレジ袋
独り言いつしか増えたセルフレジ
店員が脇で教えるセルフレジ
レジ袋までがお世話になるおむつ
会計を客にさせてるセルフレジ
レジ横で手招きおでん旨そうに
駄菓子屋のオバチャン愛を添えていた
今普通カードを提示すぐ終り
今じゃもうカートに付けたレジ機能

【秀逸】

レジ通る一円玉が踊りだす
レジの娘の笑顔で今日もいい日和

【特選】

キャッシュレスレジに慣れないまま帰宅

城後 朱美

磯島 雅男

村上 昌子

瀧尻 善英

高田 幸柳

瀧尻 善英

磯島 雅男

福田 芳記

磯島 雅男

高田 幸柳

白山 修治

福田 芳記

斉藤 蛙井

佐藤まさあき

城後 朱美

■宿題 『冷蔵庫』

互選

- ① 冷蔵庫名前を書いたゼリー消え
- ② 物価高あくびしている冷蔵庫
- ③ 生活も欲も詰め込む冷蔵庫
- ④ 冷蔵庫なんだか奥に何か有る

瀧尻 善英

白山 修治

村上 昌子

木村奈生美

佐藤まさあき

斉藤 蛙井

高田 幸柳

久保あざみ

◆十和田たてがみ川柳会4月例会案内◆

【時】 4月19日(土) 午前10時から
 【所】 十和田労働福祉会館
 【宿題】 (各題三句詠) 『忘れる』 福田芳記選
 『詫びる』 佐藤まさあき選
 【互選】 (一句詠) 『脇役』 当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入)
 【席題】 『当日発表』 (二句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名
 【投句先】 〒034-0212 十和田市米田字桜平 72 高田幸柳宛



先】〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町18の6 「第5回草原賞」事務局 中野六助あて【投句料】1000円（現金または定額小為替に限る。切手等は不可。参加者へ発表誌呈）投句は各人1組（3句）のみ。【選句方法】全作品を無記名の一覧表にし各選者あて配布、選句【賞】各選者による入選句を平抜（49句）3点、秀句（1句）5点で集計し、合計点で優勝・準優勝・第3位を決定。上位3名に賞金を授与。*同点の場合は、①秀句賞の数②事務局受付順で決定。また、各選者の秀句に秀句賞（図書カード）を贈呈【発表】『川柳草原』7月号（7月中旬に発行予定）誌上【問い合わせ先】事務局（中野）Tel 090・7107・2006

□ **2025.05.31 第67回「不浪人賞」 第55回「年度賞」候補句募集**

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟だより（結果）の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください（不浪人賞・年度賞1位に呈賞）【対象作品】2024年1月～12月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可 ※不浪人賞と年度賞への同じ作品の応募は不可【応募用紙】所定用紙またはA4の用紙を使用し、楷書で不浪人賞（3句）と年度賞（5句）を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください。※清記選【締切】2025年5月31日（当日消印有効）【発表】大賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。尚連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付いたしますので応募の際は所属吟社記入のこと。【表彰】2025年8月～12月に開催される川柳大会にて（詳細未定）※大賞のみに賞状と記念品【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞係」宛【選者】★不浪人賞（6名）渡辺梢（埼玉）・赤松ますみ（大阪）・鎌田京子（宮城）・新家完司（鳥取）・島田駱舟（千葉）・野沢省悟（青森）★年度賞（8名）長谷川酔月（秋田）・熊谷岳朗（岩手）・雫石隆子（宮城）・太田祐子（山形）・駒木香苑（福島）・笹田かなえ・千島鉄男・むさし【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱田哲也 Tel080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟

川柳の大会情報をお寄せください。

□ **2025.04.20 第2回 あおもり春の川柳まつり**

【日時】2025年4月20日（日）12時受付 / 席題発表12時30分 / 投句締切13時30分【会場】ねぶたの家ワ・ラッセ（青森駅横）【会費】1,000円（発表誌を含む）※大学生以下無料・懇親会なし【披講】司会・北山まみどり / 文台・守田啓子・滋野さち【席題と選者】1題2句詠 / 披講14時30分『 』2人選（選者は当日参加者に依頼）【宿題と選者】2句詠 ※投句拝辞『進む』にじの真美選 / 『たっぷり』大黒屋サチエ選 / 『新聞』新聞記者A選★第1回川柳まつり大賞『自由吟（雑詠）』2句詠 / 吉見恵子・きさらぎ彼句吾・柳谷たかお共選 ※大賞は3人の特選から瀧尻善英・むさし・千島鉄男の二次選考で決定【賞】★各特選作品・川柳まつり大賞に呈賞 ★ユーモア賞（当日の入選全句より、高瀬霜石選で数句に呈賞、発表誌にて発表）【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山（Tel 080-5574-9297）

□ **2025.04.30 第14回東北川柳文学大賞募集**

【応募資格】東北6県の在住者（災害による避難先は可）【応募用紙】専用の応募用紙（コピー可）。またはA4判の原稿用紙に縦書き。その際冒頭にタイトル・未発表作品10句・郵便番号と住所・柳号（氏名）・電話・所属結社の順で明記。※用紙必要な方は事務局に連絡してください。【応募料】1篇¥1,000（複数応募可）現金・郵便小為替※会報の送付を以って領収書に替えさせていただきます。なお応募時に大賞受賞者句集の購入予約（句集予約と添書きし1冊につき¥1,200同封）をいただくと送料無料でします。【締切】2025年4月30日（消印有効）【選者】梅崎流青（福岡）・齊藤由紀子（東京）・野沢省悟（青森）・長谷川酔月（秋田）・熊谷岳朗（岩手）・片倉卯月（山形）・駒木香苑（福島）・雫石隆子（宮城）・【賞】大賞～賞状、記念品、副賞として川柳句集の無料発行権と100冊を授与。【発表】2025年6月中旬予定（受賞者へ連絡）【表彰】7月13日（火）※予定【応募先】〒981-0134 宮城県宮城郡利府町しらかし台3丁目4-9 堀之内総夫 宛（東北川柳文学大賞係）Tel 022-356-7346【主催】東北川柳連盟【事務局】宮城県川柳連盟

□ **2025.05.23 第5回草原賞**

【募集内容】未発表の自由吟（雑詠）3句【選者（共選）】清水すみれ（奈良県・前回優勝者）戎踊兵（青森県）大嶋都嗣子（三重県）黒田弥生（兵庫県）西田雅子（京都府）兵頭全郎（大阪府）【投句締切】令和7年5月23日（金）必着【投句方法】専用用紙（コピー可）に、作品3句と必須事項を記入して送付【投句

■会費拝受【2月受付分】 ※太字は新会員

尾崎良仁（千葉県）/ 岩根彰子（京都府）/ 斎藤恵子・吉田州花・さいとうみき・渡邊こあき・瀧尻善英（以上青森県）

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆みなさんは、最近の歌に変化が起きていることにお気づきだろうか。ま、年齢を重ねると流行りの曲は全部同じに聞こえるという現象はおいて（笑）その変化とは、「イントロがない」曲がとて多くなっているということである。我々、昭和世代は「名曲に名イントロあり」といったもので、「津軽海峡冬景色」のような象徴的なイントロから、少し心の助走をして、歌の世界に入り込むというのが常だったように思う◆では、なぜ今、イントロがない曲が顕著に増え始めたのか。皆さん、曲を聞く時は今は何で聞きますか？これまで、レコード、カセットテープ、CDなどが主流だったと思うが、最近は、ほぼほぼサブスクの音楽配信サービス、つまり一曲ごとにお金を払うのではなく、月額定額制で何万曲がインターネットで聴き放題というサービスを利用している人がとて多くなってきたのである。当然、曲の配信者は曲の再生回数に応じた報酬を得るといった仕組みで成り立っているサービスであるが、その報酬が得られる最低ラインが15秒以上聴かれることが条件となっている。最近の若者は「タイパ」（タイムパフォーマンス）といって、どれだ

け時間効率を良くすることしか考えていない。映画やドラマは倍速で観るなど、芝居の間も余韻もへたくれもない状態でただただ情報を詰め込む作業と化している。そんな時代のため、これまでのようなとるとイントロを流しては、15秒も経たないうちに次の曲へスキップされてしまい、報酬が少なくなってしまうため、イントロを無くして、印象的なメロディから入り、スキップさせない曲作りが多くなってきているということである◆これは歌に限らず、Youtubeなんかの動画だったり、それこそ漫才なんかの「掴み」、いわゆるネタに入るまで、どれだけお客さんの心を掴むかが本ネタの出来に関わってくる大事な部分なのである◆それを踏まえて、皆さんは会員雑詠「無人駅」の作品の順番はどう決めているだろうか。全員がゆっくり読み込んでくれるならいいが、この「タイパ」が求められている時代、1句目だけを見て次の人へスキップされないよう、なんとなく並べるのではなく、読者の心をまず掴むような印象的な作品を1句目に置いておくことが、多くの人に最後まで読まれる確率は高くなるのではないかと思うのである◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.04.05 おかじょうき川柳社本社 4月句会

【日時】4月5日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室（【投句締切】4月4日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『句う』『値』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『ベッド』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.04.16 川柳吟行会 吟行会

【日時】4月16日（第3水曜日）9時～吟行・14時～合評句会【吟行場所】浅虫水族館（9時開館・入館料1030円・電話017-752-3377）【合評句会】14時～青森駅前アウガ5階（作句数3句まで・参加費100円）※当日の吟行が不都合な方は別の日に吟行し、合評句会参加も可/会員以外の方の参加歓迎

□ 2025.04.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

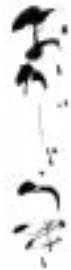
【締切】4月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】6/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.05.03 おかじょうき川柳社本社 5月句会

【日時】5月3日（土）午後2時～【所】アウガ5階企画ワーク室③④【【投句締切】5月2日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『干す』『乗』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『木の実』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.05.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】5月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】7/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



おかじょうき川柳社：誌上句会

OKAJOKI ZERO LINE
0 番線

課題と選者（2句詠・共選）

題：『金』

7/31 〆切

選者

妹尾 凜 (秋田県)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000 円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。